

諸家系譜

位

之 遠山 土肥 富澤 富津

庫文官政太		和書門	
三二五	三二四九	架	函

庫文閣内		内閣文庫	
三二五	三二四九	番號和	32649
二二五	二二五	冊數	225(66)
一五	一五	函號	156 23

共二百廿五ノ内

共八十五





山崎  
宮内省  
御用  
筆

先  
河  
書

山崎  
宮内省  
御用  
筆

二  
山崎  
宮内省  
御用  
筆

山崎  
宮内省  
御用  
筆

石原氏

遺心

先世家名氏より和名入り多し是れ以て石原氏と云ふ  
所は皆由中細之なり

此之故 石原丁門

帯之故 九字

姓之故 石原

石原氏は石原氏之二十六年石原氏石原氏石原氏

真景 州守

石原氏石原氏

石原氏石原氏石原氏

石原氏石原氏石原氏石原氏石原氏石原氏石原氏

直宗 紀伊

生母 同

少子 中務少輔

直宗

生母 同

十三年 乙未 元 少子 中務少輔

尚書 少輔 少輔

乙未 乙未 乙未 乙未

直宗 紀伊

生母 同

十三年 乙未 元 少子 中務少輔

尚書 少輔 少輔

乙未 乙未 乙未 乙未

丁酉 乙未 乙未 乙未

十三年 乙未 元 少子 中務少輔

直宗 紀伊  
生母 同  
少子 中務少輔  
尚書 少輔 少輔  
乙未 乙未 乙未 乙未  
十三年 乙未 元 少子 中務少輔

直宗 紀伊  
生母 同  
少子 中務少輔  
尚書 少輔 少輔  
乙未 乙未 乙未 乙未  
十三年 乙未 元 少子 中務少輔

文書  
青々 江利  
老のつらさ

正徳二年三月廿七日  
茶屋也 桂子 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸

夏 江戸 江戸

母 江戸

江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸

江

江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸

母 江戸

母 江戸

母 江戸

母 江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸  
江戸 江戸 江戸 江戸 江戸

母方

直臣

母方

直臣

直臣

直臣

直臣

直臣

直臣

母方

直臣

直臣

直臣

母方

直臣

直臣

直臣

母方

直臣

直臣

方は... 七月... 行...  
... 九  
...  
... 上  
...

直東 三郎

母 佳江守

母 十郎

... 日... 元...

直尾 年人 三郎

去り...

主...

今... 女

去... 女

家...

明...

事...

其...

其...

其...

山崎の...  
...  
...  
...

妻人 好

母 少

...  
...  
...  
...

...  
...

...  
...  
...

妻 しのぶ

夫 好

夫 好

...  
...  
...  
...  
...

夫 好

...  
...  
...  
...

夫 好

...

...



五言

五言  
古詩一首

五言  
古詩一首

五言  
古詩一首

五言  
古詩一首

在子院

善之江 九子子

赤之江 丸白川

理之江 杉野

孝子堂 痛書 孝子堂

直名 利名

母 才 才 才

此書は孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり  
孝子堂の御書に依りて書かれたるものなり

森政の御子山田守一様を

直為 仰命

母上之

云々

云々

森政の御子守一様を

直利 仰命

母上之

云々

云々

云々

直方 仰命

母上之

云々

云々

云々

云々

云々

云々

云々

云々

直久

直賢

云々

十の母の事

壬辰の年、父の事あり

本記、壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

主記

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

壬辰の年、父の事あり

一 女 志乃屋下 志能孝子  
母 有

一 直叙 志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

直叙 志乃屋下 有

母 志乃屋下 有

志乃屋下 有

一 女 志乃屋下 有

一 志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

志乃屋下 有

由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名  
 由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名  
 由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名  
 由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名  
 由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名  
 由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名

母 百

母 百

母 百

由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名  
 由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名  
 由小中甲午年九月二十七日午三時三十分生  
 幼名

母 百

高橋百枝之...

寛政十三年

壬午年

並

新編

石見  
古本外書。地誌

系譜

二  
石見系譜

石見系譜  
石見系譜

右字氏  
壬子

先施格也遠及不存亦有分有分胡也  
壬子

善之也 移在

壬子 加東木

壬子 加東木 以移在

壬子 九字

本館原足心切在分在分  
壬子

壬子 壬子  
壬子 壬子



十月九日  
付書  
五月八日  
五月九日

直書  
甲子年  
乙丑年

母  
十月九日

十月九日  
十月十日  
十月十一日  
十月十二日  
十月十三日  
十月十四日  
十月十五日  
十月十六日  
十月十七日  
十月十八日  
十月十九日  
十月二十日  
十月二十一日  
十月二十二日  
十月二十三日  
十月二十四日  
十月二十五日  
十月二十六日  
十月二十七日  
十月二十八日  
十月二十九日  
十月三十日

十月九日  
十月十日  
十月十一日  
十月十二日  
十月十三日  
十月十四日  
十月十五日  
十月十六日  
十月十七日  
十月十八日  
十月十九日  
十月二十日  
十月二十一日  
十月二十二日  
十月二十三日  
十月二十四日  
十月二十五日  
十月二十六日  
十月二十七日  
十月二十八日  
十月二十九日  
十月三十日

十月九日  
十月十日  
十月十一日  
十月十二日  
十月十三日  
十月十四日  
十月十五日  
十月十六日  
十月十七日  
十月十八日  
十月十九日  
十月二十日  
十月二十一日  
十月二十二日  
十月二十三日  
十月二十四日  
十月二十五日  
十月二十六日  
十月二十七日  
十月二十八日  
十月二十九日  
十月三十日

十月九日  
十月十日  
十月十一日  
十月十二日  
十月十三日  
十月十四日  
十月十五日  
十月十六日  
十月十七日  
十月十八日  
十月十九日  
十月二十日  
十月二十一日  
十月二十二日  
十月二十三日  
十月二十四日  
十月二十五日  
十月二十六日  
十月二十七日  
十月二十八日  
十月二十九日  
十月三十日

更定中... 氏名...

此是... 氏名...

此是... 氏名...

此是... 氏名...

唐...

唐...

唐...

唐...

唐...

唐...

唐書卷之九十一  
蘇州府志卷之九

蘇州府志

母事 十一

唐書卷之九十一  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九

蘇州府志

母事 十一  
唐書卷之九十一  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九

蘇州府志

蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九  
蘇州府志卷之九

寛文九年八月廿一日  
文政元年十一月廿九日  
其のりくそふり流しぬるに

一 遺物 御下 御りふ

母あり 中書

寛文九年八月廿一日  
文政元年十一月廿九日  
其のりくそふり流しぬるに

其のりくそふり流しぬるに

遺物

中書

寛文九年八月廿一日  
文政元年十一月廿九日  
其のりくそふり流しぬるに

寛文九年八月廿一日  
文政元年十一月廿九日  
其のりくそふり流しぬるに

寛文九年八月廿一日  
文政元年十一月廿九日  
其のりくそふり流しぬるに

遺物

中書

寛文九年八月廿一日  
文政元年十一月廿九日  
其のりくそふり流しぬるに

主の御事  
御事  
御事  
御事

田上

主の御事  
御事  
御事  
御事

主の御事  
御事  
御事  
御事

田上

来

田上

来

田上

主の御事

高

田上

田上

田上

主の御事  
御事  
御事  
御事

田上

田上

乙  
友  
録  
し

系  
譜

孝  
弟  
忠  
義

節  
義  
忠  
孝

古  
事  
古  
蹟  
古  
蹟  
古  
蹟

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

及子既

在子年

壽一紅

赤一紅

世一紅

世一紅

丸四子川

丸四子川

九字

九字

去後有宋... 多胡... 上

日美久... 上

母少元

位列... 也

上南... 也

控... 也

子... 也





其のくそ輝くは光

女 母音

女 母音

女 母音

女 母音

其のくそ輝くは光

母音

其のくそ輝くは光  
其のくそ輝くは光  
其のくそ輝くは光

其のくそ輝くは光

其のくそ輝くは光

其のくそ輝くは光

母音

其のくそ輝くは光

母音

其のくそ輝くは光

母音

其のくそ輝くは光

母音

其のくそ輝くは光  
其のくそ輝くは光  
其のくそ輝くは光

此の世より九つの子を産みしに  
はなはた奇なり九つの子を産みしに  
美明 國字 下す 又のまら子

女 吉原 中より 夫原 幸

女 母 上白 下 高平 幸

美明 國字 下す

吉原 中より 夫原 幸  
美明 國字 下す

此の世より九つの子を産みしに  
はなはた奇なり九つの子を産みしに  
美明 國字 下す

美明 國字 下す

女 吉原 中より

此の世より九つの子を産みしに  
はなはた奇なり九つの子を産みしに  
美明 國字 下す

「廿 さらさらのしほきほろすき

あはれ

あはれ けしき けしき

あはれ さらさらのしほきほろすき  
あはれ さらさらのしほきほろすき  
あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき  
あはれ さらさらのしほきほろすき  
あはれ さらさらのしほきほろすき  
あはれ さらさらのしほきほろすき  
あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ さらさらのしほきほろすき

あはれ

あはれ さらさらのしほきほろすき

金母 ちちの 小左衛門 ちちの ちちの  
十一年 八月初七日

金母 ちちの 小左衛門 ちちの ちちの  
十一年 八月初七日  
お前と申すは 十月十日 ちちの ちちの ちちの  
天狗と申すは 十月十日 ちちの ちちの ちちの  
お前と申すは 十月十日 ちちの ちちの ちちの  
天狗と申すは 十月十日 ちちの ちちの ちちの  
お前と申すは 十月十日 ちちの ちちの ちちの  
天狗と申すは 十月十日 ちちの ちちの ちちの  
お前と申すは 十月十日 ちちの ちちの ちちの  
天狗と申すは 十月十日 ちちの ちちの ちちの

金母 ちちの 小左衛門 ちちの ちちの  
十一年 八月初七日

金母 ちちの 小左衛門 ちちの ちちの  
十一年 八月初七日

某介下

母有

左邊の流るる

高直良 美作 此の所

口はるる

多の志事

後山村馬者乃五

多の志事  
山田

系譜

多の志事  
山田

二  
右

山田  
山田

君宗此

光亨の

光亨は御守御代を承りて、  
其の御守御代を承りて、  
其の御守御代を承りて、

御守御代を承りて、

御守御代を承りて、

御守御代を承りて、

光亨

御守御代を承りて、

光亨は御守御代を承りて、  
其の御守御代を承りて、  
其の御守御代を承りて、

正徳九年十月十日  
正徳九年十月十日

多列

正徳九年十月十日

多列

正徳九年十月十日

以能

母正徳九年十月十日

正徳九年十月十日

正徳九年十月十日

正徳九年十月十日

多列

正徳九年十月十日

正徳九年十月十日

重母 皇孫若紅華の御孫の御孫  
 十子と云ふ事ありき  
 宣仁下御年八月廿二日  
 元化三年十一月廿二日  
 文治元年七月廿二日  
 久保元年八月廿二日  
 長保元年九月廿二日  
 長和元年十月廿二日  
 長元元年十一月廿二日  
 長久元年十二月廿二日  
 長治元年正月廿二日  
 長承元年二月廿二日  
 長安元年三月廿二日  
 長祿元年四月廿二日  
 長元元年五月廿二日  
 長久元年六月廿二日  
 長和元年七月廿二日  
 長保元年八月廿二日  
 長治元年九月廿二日  
 長承元年十月廿二日  
 長安元年十一月廿二日  
 長祿元年十二月廿二日  
 長元元年正月廿二日  
 長久元年二月廿二日  
 長和元年三月廿二日  
 長保元年四月廿二日  
 長治元年五月廿二日  
 長承元年六月廿二日  
 長安元年七月廿二日  
 長祿元年八月廿二日  
 長元元年九月廿二日  
 長久元年十月廿二日  
 長和元年十一月廿二日  
 長保元年十二月廿二日

廿

母上

廿

宣仁下御年八月廿二日  
 元化三年十一月廿二日  
 文治元年七月廿二日  
 久保元年八月廿二日  
 長保元年九月廿二日  
 長和元年十月廿二日  
 長元元年十一月廿二日  
 長久元年十二月廿二日  
 長治元年正月廿二日  
 長承元年二月廿二日  
 長安元年三月廿二日  
 長祿元年四月廿二日  
 長元元年五月廿二日  
 長久元年六月廿二日  
 長和元年七月廿二日  
 長保元年八月廿二日  
 長治元年九月廿二日  
 長承元年十月廿二日  
 長安元年十一月廿二日  
 長祿元年十二月廿二日  
 長元元年正月廿二日  
 長久元年二月廿二日  
 長和元年三月廿二日  
 長保元年四月廿二日  
 長治元年五月廿二日  
 長承元年六月廿二日  
 長安元年七月廿二日  
 長祿元年八月廿二日  
 長元元年九月廿二日  
 長久元年十月廿二日  
 長和元年十一月廿二日  
 長保元年十二月廿二日

廿  
 母上  
 宣仁下御年八月廿二日  
 元化三年十一月廿二日  
 文治元年七月廿二日  
 久保元年八月廿二日  
 長保元年九月廿二日  
 長和元年十月廿二日  
 長元元年十一月廿二日  
 長久元年十二月廿二日  
 長治元年正月廿二日  
 長承元年二月廿二日  
 長安元年三月廿二日  
 長祿元年四月廿二日  
 長元元年五月廿二日  
 長久元年六月廿二日  
 長和元年七月廿二日  
 長保元年八月廿二日  
 長治元年九月廿二日  
 長承元年十月廿二日  
 長安元年十一月廿二日  
 長祿元年十二月廿二日  
 長元元年正月廿二日  
 長久元年二月廿二日  
 長和元年三月廿二日  
 長保元年四月廿二日  
 長治元年五月廿二日  
 長承元年六月廿二日  
 長安元年七月廿二日  
 長祿元年八月廿二日  
 長元元年九月廿二日  
 長久元年十月廿二日  
 長和元年十一月廿二日  
 長保元年十二月廿二日



皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日

光長

皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日

皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日  
皇元正年九月二十三日

光緒二十一年

母の事

女は母を死にせしむる事あり

母の事

女は母を死にせしむる事あり

女は母を死にせしむる事あり

母の事

少少の事

光緒二十一年

宣統元年十二月 孝子 長

孝子 長

宣統元年十二月 孝子 長

系譜

己ノ事

宣統元年十二月 孝子 長

藤原氏  
光孝

藤原氏は、中興の功を以て、  
治承元年、左大臣に任ぜられ、  
二月、攝關に任ぜられ、  
治承四年、左大臣に任ぜられ、  
治承六年、左大臣に任ぜられ、  
治承八年、左大臣に任ぜられ、  
治承十年、左大臣に任ぜられ、  
治承十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承二十年、左大臣に任ぜられ、  
治承二十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承二十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承二十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承二十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承三十年、左大臣に任ぜられ、  
治承三十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承三十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承三十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承三十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承四十年、左大臣に任ぜられ、  
治承四十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承四十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承四十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承四十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承五十年、左大臣に任ぜられ、  
治承五十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承五十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承五十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承五十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承六十年、左大臣に任ぜられ、  
治承六十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承六十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承六十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承六十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承七十年、左大臣に任ぜられ、  
治承七十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承七十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承七十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承七十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承八十年、左大臣に任ぜられ、  
治承八十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承八十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承八十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承八十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承九十年、左大臣に任ぜられ、  
治承九十二年、左大臣に任ぜられ、  
治承九十四年、左大臣に任ぜられ、  
治承九十六年、左大臣に任ぜられ、  
治承九十八年、左大臣に任ぜられ、  
治承一千年、左大臣に任ぜられ、

藤原氏  
光孝

藤原氏  
光孝

藤原氏  
光孝

母 孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す

母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり  
母の徳を慕ふは孝の初なり

孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す

孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す

孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す  
孝の心を表す

事得る事は... 法は... 行は... 意

良意

主文... 増... 意... 所... 方

主文... 増... 意... 所... 方... 中... 日

主文... 増... 意... 所... 方... 中... 日

主文... 増... 意... 所... 方... 中... 日... 意... 所... 方... 中... 日

一 下下 下下

母上 母上

事甲申年四月廿五日... 母上 母上

母上 母上

廿九日 廿九日

母上 母上

母上 母上

廿九日 廿九日

事母上者方... 母上 母上

母上 母上

母上 母上

母上 母上

母上 母上

母上 母上

廿九日 廿九日

母上 母上

母...  
...  
...  
...  
...

母...  
...

...

...

...

...

五

乙原

...

...

...

...

江州府

古口

之能任其後及此後其の物等皆同其同其の所

在於此中其の所

其の所 之能任其後及此後其の物等皆同其同其の所

其の所 其の所

古口府之能任其後及此後其の物等皆同其同其の所

其の所

母

其の所

其の所

其の所





如左

幸甚幸甚代打... 幸甚幸甚

幸甚幸甚

幸甚

二

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚

幸甚







也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

山田の事

山田の事

山田の事

山田の事

山田の事

山田の事

山田の事

山田の事

山田の事

山田の事

去々

山田の事

七月廿九日

子 乙辰 卯辰 庚辰 壬辰 乙巳 卯巳 庚巳 壬巳 乙午 卯午 庚午 壬午 乙未 卯未 庚未 壬未 乙申 卯申 庚申 壬申 乙酉 卯酉 庚酉 壬酉 乙戌 卯戌 庚戌 壬戌 乙亥 卯亥 庚亥 壬亥

卯辰 卯巳 卯午 卯未 卯申 卯酉 卯戌 卯亥

乙未 卯未 庚未 壬未

卯未 卯申 卯酉 卯戌 卯亥

女子

母

卯未 卯申 卯酉 卯戌 卯亥

女子

母

卯未 卯申 卯酉 卯戌 卯亥

女子

母

卯未 卯申 卯酉 卯戌 卯亥

女子

母

卯未 卯申 卯酉 卯戌 卯亥

女子

母

卯未 卯申 卯酉 卯戌 卯亥

女子



と  
左の  
右の

百

左の  
右の

二百  
左の  
右の

美作  
左の  
右の

*[Faint, illegible handwriting on the right page]*

藤原姓

達下

美原天破冠海軍少将 此所記は美原天破の事  
云々 美原天破 建永元年三月廿七日 美原天破 建永元年三月廿七日 美原天破 建永元年三月廿七日

美原天破 建永元年三月廿七日

美原天破 建永元年三月廿七日

美原天破 建永元年三月廿七日

美原天破 建永元年三月廿七日

美原天破 建永元年三月廿七日

母名 美原天破 建永元年三月廿七日

少時中子... 國有... 甲... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...  
 此... 國... 文... 武... 禮... 義... 廉... 恥... 忠... 孝... 悌... 友... 節... 義... 廉... 恥... 忠... 孝... 悌... 友... 節...

漢

母... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 忠... 孝... 悌... 友... 節... 義... 廉... 恥... 忠... 孝... 悌... 友... 節...

定... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 忠... 孝... 悌... 友... 節... 義... 廉... 恥... 忠... 孝... 悌... 友... 節...

上... 孝... 忠... 義... 廉... 恥... 忠... 孝... 悌... 友... 節... 義... 廉... 恥... 忠... 孝... 悌... 友... 節...

此の御書は御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に

女 御書付の御書に御書付の御書に

女 御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に

為廣 御書付の御書に御書付の御書に

母 御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に

此の御書は御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に御書付の御書に

御書付の御書に御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に御書付の御書に

女 御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に

御書付の御書に御書付の御書に  
御書付の御書に御書付の御書に

十月七日  
母方 小島村 小島村 小島村

大蔵 小島村 小島村 小島村

小島村 小島村 小島村 小島村

小島村 小島村 小島村 小島村

小島村 小島村 小島村 小島村

小島村 小島村 小島村 小島村

小島村 小島村 小島村 小島村

小島村 小島村 小島村 小島村

小島村 小島村 小島村 小島村

母方

小島村 小島村 小島村 小島村

母方 小島村 小島村

母方

小島村 小島村 小島村 小島村

母方

母方

小島村 小島村 小島村 小島村



あつちのしんせうとてん  
華のりつ ちんせう 體のりつ  
修成 中書より下

母上白  
おつちのりつ 中書より下 修成より

美成 中書より下

母上白

おつちのりつ 中書より下

一 月 十日 卯 時 刻 申 刻 亮 中書より下 修成より

明徳堂より七月十日

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

母上白

母上白

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

美成 中書より下

母上白

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

おつちのりつ 中書より下

宣和二年三月二十七日  
明使來朝之時  
わが朝之好むもの  
川に流すは  
あつた  
あつた  
あつた

母の身  
宣和二年三月二十七日  
あつた

母の身  
あつた

宣和二年三月二十七日  
あつた

宣和二年三月二十七日

母の身  
宣和二年三月二十七日  
あつた

宣和二年三月二十七日  
あつた



夫を以てして

世に

善くして

世に

古くして

高きを以てして

多きを以てして

有るは

多きを以てして

人

考へて  
切に  
105  
解き

系譜

と  
考へて  
己に  
石八

考へて  
六百  
之書  
切に  
考へて

考へて  
切に  
考へて  
考へて

Handwritten text in a rectangular box at the top right of the page.

Handwritten text below the top right box.

Vertical handwritten text in the center of the page.

Handwritten text in a rectangular box at the top left of the page.

Handwritten text in a rectangular box at the bottom left of the page.

右之性

之字也

是如生威遠海是之字也... 此如以建之三年二月十日... 此如以建之三年二月十日... 此如以建之三年二月十日...

幕之故

亦之故

也之故

九字

九字

九字

皇朝天子

吉田英

母后 昭示

七年庚子年北維成慶於...  
由海而平一山以中...  
上... 昭示...  
昭示... 昭示...  
昭示... 昭示...  
昭示... 昭示...

皇朝天子

母后 昭示

七年庚子年北維成慶於...  
由海而平一山以中...  
上... 昭示...  
昭示... 昭示...  
昭示... 昭示...  
昭示... 昭示...

皇朝天子

母后 昭示

七年庚子年北維成慶於...  
由海而平一山以中...  
上... 昭示...  
昭示... 昭示...  
昭示... 昭示...  
昭示... 昭示...

布衣

田原

田原

予等之舟行、昔多此條、田原、  
と、  
亦、  
此、  
一、  
國、  
民、

控、

在、

元、  
布、  
法、

以、

年、

元、  
在、

元也之八所多之古也  
多也之八所多之古也  
多也之八所多之古也  
多也之八所多之古也  
多也之八所多之古也  
多也之八所多之古也  
多也之八所多之古也  
多也之八所多之古也  
多也之八所多之古也  
多也之八所多之古也

多也之八所多之古也

母 多也之八所多之古也

多也之八所多之古也

多也之八所多之古也

多也之八所多之古也

多也之八所多之古也

多也之八所多之古也

多也之八所多之古也

年事月日之記  
是書此法  
貴族之記

名別

部

母

吉野

年事月日之記  
是書此法  
貴族之記

年事月日之記  
是書此法  
貴族之記

別

部

春毎 予書

字文

心齋  
春毎 予書

春毎

心齋

付記年廿

春毎 予書

常書 標代

春文 予書 勅諭 予書 勅諭

勅諭 予書 勅諭 予書

元禄 二年 七月 廿 日 予書

春毎 予書

定永 元年 七月 廿 日 予書

元禄 二年 七月 廿 日 予書

元禄 二年 七月 廿 日 予書

元禄 二年 七月 廿 日 予書

元禄 二年 七月 廿 日 予書

元禄 二年 七月 廿 日 予書

予書

元禄 二年 七月 廿 日 予書

元禄 二年 七月 廿 日 予書

法心照院考卷之五

東 早也 也

母 專

孝經三年九月八日 歲次癸卯

別紙

年

孝經 年

孝經 一 孝經 孝經 孝經

孝經 孝經 孝經 孝經 孝經

孝經 孝經 孝經 孝經 孝經

孝經 孝經 孝經 孝經 孝經

孝經 孝經 孝經 孝經 孝經

孝經 孝經 孝經 孝經 孝經

孝經 孝經 孝經 孝經 孝經

孝經 孝經 孝經 孝經 孝經



孝行宛元平二年二月廿七日  
書院宛山左京東山町  
右住院極淨代

孝行宛元平二年二月廿七日  
同様宛山左京東山町  
口上云云  
乃代々々々々  
日平廿一日  
病死  
此名志

平平月日

女子  
西丸  
母 家女

別紙

十

孝女  
孝女  
孝女  
孝女



此以... 宣慶... 治... 出... 病... 治... 年... 亦... 之... 亦...

元文... 功... 亦...

別紙

...

母

... 宣... 治... 出... 病... 治... 年... 亦...

別子

十九日

信長

母

西行

御書

書

御書

御書

久松長平

信長

御書

元和元年

御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

御書

至原居町宅  
日子二月八日  
子同日  
安永三年四月  
日中  
同中  
少  
同  
作

至原居町宅  
日子二月八日  
子同日  
安永三年四月  
日中  
同中  
少  
同  
作

至原居町宅  
日子二月八日  
子同日  
安永三年四月  
日中  
同中  
少  
同  
作

心守公記の如し子通光孝中

中子

少子

中子

中

中子

中子

中

中子

州親

何者

中

中子

中子

中

一子

古別親中

定光元年九月公別

定光元年九月公別

定光元年

定光元年二月九日

定光元年

定光二年二月七日

定光元年三月七日

いふ事なるを南へは打手抄に  
て成りて文は少き事なり  
の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり  
此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり  
此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり  
此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり  
此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり

此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり  
此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり  
此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり  
此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり  
此の事なりしに今も其の  
上にも八月の頃の事なり

別通

元禄四年

母 長子  
全又 長子平次別名

母 江戸 山崎屋 住

安永六年九月 江戸 山崎屋 住

東 母 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住

母 江戸 山崎屋 住

東京 母 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住  
安永六年九月 江戸 山崎屋 住

女子 母 江戸 山崎屋 住

右 通 山崎屋 住



高古方後 古國亞底 信公家 孝外書可

定以工 孝年

孝年 孝年 孝年

舟中 舟中 舟中

平氏 平氏 平氏

系譜

二 初年

山善信記江神信了光  
去紀元去

平姓

古肥氏

七代以平之五年行代之在島田之町  
之代以平之五年行代之在島田之町  
之代以平之五年行代之在島田之町

幕下紅白

赤白紅白

幕下紅白

海軍時代

幕下

母下少色

推定此處之文字相也其文字之  
之代以平之五年行代之在島田之町

李璽 出書

母 出書 其之

打手 出書 其之

宣和二年八月十日 宣和二年八月十日

宣和二年八月十日

比打手 出書 其之

宣和二年八月十日

子直 出書 其之

宣和二年八月十日

母 出書 其之 宣和二年八月十日

出書 其之

宣和二年八月十日

宣和二年八月十日

元成 出書 其之

母 出書 其之

宣和二年八月十日

宣和二年八月十日

宣和二年八月十日

宣和二年八月十日

宣和二年八月十日

宣和二年八月十日



寛政十一年十一月廿七日  
御座候御  
申上白

申上白

良翰 之云

申上白

寛政十一年十一月廿七日  
御座候御  
申上白

申上白

申上白

申上白

申上白

申上白

申上白

申上白

申上白

二

孝子  
淺井信房

系信

孝子  
外郎。如左

如左  
淺井信房  
如左

*[Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]*

石室記  
首頁

石室記王覽山莊尋身之山莊經冠  
記多一後凡四事在左身即可  
只代他看身即之元之二代  
伊室事之入之身之十代身之利  
古身之克利始之信之更列身  
始之身之克利之十身之身之利  
德  
清高身之之身之

幕 九段 五訂書

赤 九段

青 訂書

別名 訂書

別名 訂書

利徳

也

也

也

別名 訂書

別名 訂書

別名 訂書

別名 訂書

大和 様 印 代

寛政 四年 九月 廿二 日 迄 迄 迄

別名 訂書

大和 様 印 代

寛政 四年 九月 廿二 日 迄 迄 迄

別名 訂書

寛政 四年 九月 廿二 日 迄 迄 迄

別名 訂書

寛政 四年 九月 廿二 日 迄 迄 迄

別名 訂書

寛政 四年 九月 廿二 日 迄 迄 迄





この頃  
白鳥元子年十二歳に於て新羅書を修  
むる事ありしをその時在るに  
白鳥元子年十二歳に於て新羅書  
を修むる事ありしをその時在るに  
白鳥元子年十二歳に於て新羅書  
を修むる事ありしをその時在るに  
白鳥元子年十二歳に於て新羅書  
を修むる事ありしをその時在るに  
白鳥元子年十二歳に於て新羅書  
を修むる事ありしをその時在るに

元禄六年年一二月に於て  
作られたる新羅書は其の  
書後中なるに於て  
白鳥元子年十二歳に於て  
新羅書を修むる事ありしを  
その時在るに白鳥元子年  
十二歳に於て新羅書を修  
むる事ありしをその時在るに  
白鳥元子年十二歳に於て  
新羅書を修むる事ありしを  
その時在るに白鳥元子年  
十二歳に於て新羅書を修  
むる事ありしをその時在るに

三美は所々、此所抄るる  
お信 子下

正徳元年、口月、病れは  
石見、山、赤、村、常、志、子、身  
中、一、部、院、主、通、子、入

女子 乙女、下、子、身、通、子、入

母 信人、子、身、通、子、入

女子 福、子、身、通、子、入

母 信人、子、身、通、子、入

女子 山、子、身、通、子、入

母 信人、子、身、通、子、入

女子 山、子、身、通、子、入

母 信人、子、身、通、子、入

利成

印、子、身、通、子、入

山、子、身、通、子、入

母 信人、子、身、通、子、入





孝子

孝子

久所子也

宣文之流也

乃子也

母 而也

孝子

孝子

母 乃也

孝子

孝子

母 乃也

利之 孝子

孝母

乃也

孝父

乃也

孝母

乃也

有德

孝子

孝子

孝子

日

御免  
元文三年年六月十八日  
病丸沙所喜心  
葉澤北流地事矣

孝子 朝乃利定事

孝女お初 年八月  
孝女お初 年八月  
孝女お初 年八月  
孝女お初 年八月

孝女 朝乃利定事

利定 朝乃利定事

孝女 朝乃利定事

孝女 朝乃利定事

孝女 朝乃利定事

孝女 朝乃利定事

有任後孫

元文二年十月十日  
利成  
少丸  
浦和  
子氣

日  
浦和  
子氣

日  
浦和  
子氣

高丸  
浦和  
子氣

女子  
早也

母  
子氣

浦和  
子氣

母  
子氣

浦和  
子氣



東

華子

早也

美代子

母

國子

東

早也

早也

母

り

利

母

母

り

大妻

正徳元年八月...  
利母...  
早也...  
母...  
り...

利

早也

大妻

宣統元年九月...

...

母 國中...

...

...

...

...

...

...

...

...

病犯江

日月を以て流砂の如くもろくも流るる  
心先申す所大に相違ふ所ありて地味  
少き所は地味相違ふ所ありて地味  
相違ふ所ありて地味

王國の如く日月を以て流砂の如くもろくも流るる  
心先申す所大に相違ふ所ありて地味  
少き所は地味相違ふ所ありて地味  
相違ふ所ありて地味

日高の如く日月を以て流砂の如くもろくも流るる  
心先申す所大に相違ふ所ありて地味  
少き所は地味相違ふ所ありて地味  
相違ふ所ありて地味

日高の如く日月を以て流砂の如くもろくも流るる

日高の如く日月を以て流砂の如くもろくも流るる

日高の如く日月を以て流砂の如くもろくも流るる

日高の如く日月を以て流砂の如くもろくも流るる

手島

上條之取調

八月廿一日付 於陸奥國 陸奥高

上條之取調 陸奥國 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國

陸奥國 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高

陸奥國 陸奥高 陸奥高



上は之を以て

日平の月をうけつて此の行路を以て

此の行路を以て此の行路を以て

此の行路を以て

日平の月をうけつて此の行路を以て

此の行路を以て此の行路を以て

此の行路を以て

日平の月をうけつて此の行路を以て

此の行路を以て此の行路を以て

孝子

孝子 孝子の行路を以て

孝子の行路を以て

孝子の行路を以て

孝子の行路を以て

孝子の行路を以て

孝子の行路を以て

孝子の行路を以て

孝子の行路を以て

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

利興子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

孝子 利興子 利興子 利興子

之極年牛七條以九條爲一  
條何之乎九之九條以九  
之月一五元

近事言言言言言言言言言  
言言言言言言言言言言言  
言言言言言言言言言言言

言言言言言言言言言言言  
言言言言言言言言言言言  
言言言言言言言言言言言

言言言言言言言言言言言  
言言言言言言言言言言言

在酒之九元

言言言言言言言言言言言  
言言言言言言言言言言言

言言言言言言言言言言言

言言言言言言言言言言言



乙巳年

辛卯年  
御門中

之  
御  
書

傳  
之  
御  
書  
御  
書

御  
書  
御  
書  
御  
書

Handwritten text in a rectangular box at the top right of the page.

Handwritten text in the middle right section of the page.

Handwritten text in a rectangular box at the top left of the page.

Handwritten text in a rectangular box at the bottom left of the page.

Handwritten text, possibly a name or title, located in the upper middle section.

Handwritten text, possibly a name or title, located in the middle section.

Main body of handwritten text in the center of the page, consisting of several vertical columns.

Handwritten text at the bottom left of the page, including the characters '加賀' and '佐野'.

中書右丞相...  
後人...  
...

送

...

母

喜

...

常...  
...

...

正徳二年庚午一月廿七日  
死後名好集り兼江守人其命尊  
苦行心毎毎守守守守

名好之 行

母 山守守守

守守

年月日之 守守守守守守  
守守守守守守守守守守

年月日之 守守守守守守  
守守守守守守守守守守

守守

守守

守守守守守守

母 守守

守守守守守守

守守 守守守守守守

守守守守守守

守守守守守守  
守守守守守守守守守守  
守守守守守守守守守守  
守守守守守守守守守守

之德定者甲辰動書之  
以後之新甲辰年也  
少後乃大月辰  
師長之乃中辰甲子  
海月不修至以能化  
至即之能不在  
新甲辰年七月  
元祐甲辰年七月  
於皇太后之定也  
此乃中辰之定也  
相之台少書之

同乙未年二月十日  
少後乃大月辰  
師長之乃中辰甲子  
海月不修至以能化  
至即之能不在  
新甲辰年七月  
元祐甲辰年七月  
於皇太后之定也  
此乃中辰之定也  
相之台少書之

有任既極。行月之法。...

七名

同日十月十日。甲辰。...

同日十月十日。甲辰。...

同日十月十日。甲辰。...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

定儀

書

女 去歲乃其遺體也

子 去歲乃其遺體也

主父 去歲乃其遺體也

往死所乃其遺體也

妻 去歲乃其遺體也

往死所乃其遺體也

妻 去歲乃其遺體也

往死所乃其遺體也

嘉永八年正月二日

定儀 書

嘉永八年正月二日

定儀 書

嘉永八年正月二日

定儀 書

嘉永八年正月二日

定儀 書

嘉永八年正月二日

定儀 書

有集... 冲日之比... 西元...

口名... 神... 日... 月... 某...

甲... 辰... 月... 日... 某...

乙... 酉... 月... 日... 某...

丙... 子... 月... 日... 某...

丁... 卯... 月... 日... 某...

乃... 存... 之... 某... 某... 某...

乙... 未... 年... 八... 月... 某...

丙... 申... 年... 九... 月... 某...

丁... 酉... 年... 十... 月... 某...

戊... 戌... 年... 十一... 月... 某...

己... 亥... 年... 十二... 月... 某...



定祥

三石

海州製糖株式

妻 昭子 山崎 吉子

室文 昭子 山崎 吉子

室女 昭子 山崎 吉子

室 昭子 山崎 吉子

室 昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

昭子 山崎 吉子

出度在四月廿五日... 此後...

後明院... 中... 之... 此...

上... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...

此... 此... 之... 此...





廣野村又山崎村に於ては  
宣和の辛酉年二月某日  
山崎村に於ては  
山崎村に於ては

宣和 金

母 山崎村に於ては

甲列在車親為東村  
成古山に於ては

女子 母 山崎

女子

母 山崎村に於ては

宣和 宣和

母 山崎

宣和 宣和

山崎村に於ては

古くは宣和の辛酉年

少元公

高田侯爵御書

白紙に書方印  
梅少公

享和二年正月 高田侯爵御書

石  
二  
折

折

石

系譜

享和二年正月  
高田侯爵御書

石本氏

石本氏

大徳寺住持 石本氏 石本氏 石本氏 石本氏

善信 丸の内 丸の内 丸の内 丸の内

支願

支願

支願

支願 支願 支願 支願 支願 支願

支願 支願 支願 支願 支願 支願

支願 支願 支願 支願 支願 支願

林氏

之

田

年

大

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



白

之

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

吉

白

之

白

之

主簿... 正史... 正史... 正史...

正史

正史

正史... 正史... 正史...

正史

正史

正史

正史

正史

正史

正史

正史... 正史... 正史...

正史... 正史... 正史...

正史

正史... 正史... 正史...

正史

正史

正史

正史

正史

正史

正史

正史

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

母

長

幼下

長

女子

年也

孝子

孝

孝之徳也

了也

五次

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

孝

母

孝

孝

孝

上  
外

三月十九日

○  
○  
○

馬

明治九年

○  
○  
○

三月十九日

○  
○

宇治守氏  
高島氏

致密親王後阮は、中平元年、高島氏、  
伊予守、佐々木、武野、平山、  
丁未年、六月、病、死、其、子、  
親、列、白、高、部、能、多、村、  
也、也、知、名、也、所、代、  
其、子、也

高島守氏、  
高島守氏、

高島守氏、  
高島守氏、

高島氏

高島氏



有邦

為長河石 印由下

母

安

古 以...

...

...

幸向

...

...

日道

...

...

母

...

古

...

...

...

...

...

...

...

...

...



直延

直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延

直延

直延

直延

直延

直延

直延

直延

直延

直延

直延

直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延

直延

直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延 直延

直延

直幸

直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸

直幸

直幸

直幸

直幸

直幸

直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸

直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸

直幸

直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸

直幸

直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸 直幸

上野の如く... 一、五月八日... 一統... 此の如く... あり... なる...

一、五月八日... 一統... 此の如く... あり... なる...

... 一、五月八日... 一統... 此の如く... あり... なる...

... 一、五月八日... 一統... 此の如く... あり... なる...

村川家と云ふ所の事なりと云ふ事  
二月八日と云ふ事なりと云ふ事  
王州と云ふ事なりと云ふ事  
今下の事なりと云ふ事  
田舎の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事

此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事  
此の事なりと云ふ事

吉原  
吉原  
吉原

秀若

貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

妙子

貞子 貞子 貞子

妙子

貞子 貞子 貞子

妙子

貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

子孫

貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

貞子 貞子 貞子

